

研究課題名「救急搬送に関する社会実装実験：動画アプリケーションの活用」 に関する情報公開

1. 研究の対象

本研究の対象者は、実施承認日から2025年3月の間に、名古屋市消防本部/西春日井消防本部/新城消防本部の管轄内において、名古屋医学医学部附属病院または5. 研究組織に記載の機関に手指切断/手指外傷で救急搬送された方です。

2. 研究目的・方法・研究期間

現在、手指切断または開放損傷の患者に対する救急搬送の情報伝達手段として、現場で患部の写真を撮影してメール等で情報共有するシステムを導入しています。電話連絡のみでは伝わりにくい詳細な患部の情報を提供できることにより、適切な搬送先決定や所要時間短縮を図れるようになってきています。ただ、現場で救急隊員が操作する必要があり、その作業時間の短縮は課題の一つです。今回、動画を用いたアプリケーションを使用することにより、救急搬送に関わる業務のさらなる効率化が得られるか（搬送先の早期決定と搬送先到着までの時間短縮が可能か）を目的として研究を行います。

研究方法としては、今までの写真撮影とメールでの情報配信と今回の動画配信を比較し、現場接触から搬送先決定までの時間、患部の状態を判断するための情報の質の向上が得られていたかを検証する予定です。

研究期間としては、実施承認日から2026年3月31日を予定しています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

救急隊からの搬送患者のデータ（通報時間・現場到着時間・搬送先決定時間・搬送先到着時間）や、搬送先での治療に関するデータ（傷病名・手術開始時間・麻酔方法・手術方法・手術時間）、搬送時に撮影された動画データを収集し比較することで、検証を行います。

4. 外部への試料・情報の提供

名古屋大学手の外科教室がデータセンターとなり、情報は研究対象者のデータから氏名等の個人情報削り、代わりに新しく符号をつけて個人が特定されないような工夫（非識別化）を病院ごとに行い、この符号（番号）を結びつける対照表は外部に漏れないように厳重に保管します。動画データも個人が特定されるおそれがある箇所は削除し、編集します。データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。なお、名古屋大学手の外科学医局に集められた匿名化データも、パソコンにはパスワードロックをかけ、盗難、持ち出し、損壊を防止するための対策を講じます。

5. 利益相反について

本研究は、研究責任者が計画、実施し、データ及び評価に最終的な責任を負うことを前提として行われるものです。

本研究の研究費の一部として研究分担者が所属する寄附講座の講座費を用いますので、寄附講座提供元である愛知県厚生農業協同組合連合会及び医療法人済衆館との間に利益相反関係が生じていますが、どちらの講座費提供元も本研究の計画、実施、解析などに関与しておりません。また研究責任者及び他の研究分担者は上述の寄附講座に所属しておらず上述の団体と利益相反関係にありませんので、研究の中立性・公平性は担保されています。

6. 研究組織

名古屋大学大学院医学系研究科 手の外科学・助教・徳武克浩
安城更生病院・整形外科・手の外科主任部長・建部将広
名古屋医療センター・救急科・ER室長・近藤 貴士郎
日本赤十字社名古屋第一病院・救急部・集中治療部長 救急部長・都築 通孝
小牧市民病院・救急科・救命救急センター長・井上卓也
豊川市民病院・救急科・主任部長・高松 真市
豊橋市民病院・救急科・副部長・斗野敦士
愛知医科大学病院・形成外科・教授・古川洋志

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の

連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学大学院医学系研究科手の外科学 徳武克浩
住所：名古屋市昭和区鶴舞町 65
電話：052-744-2965
FAX：052-744-2964

当施設での研究責任者：

小牧市民病院 救急集中治療科・部長 井上 卓也
住所：愛知県小牧市常普請 1 丁目 20
電話：0568-76-4131（代表）
FAX：0568-76-4145（代表）